

福岡市における食事からの残留農薬一日摂取量調査

保健科学課 井邊 早春・河野 嘉了・藤井 優寿・藤岡 栄子・中牟田 啓子

第 54 回全国衛生化学技術協議会年会

市民が日常の食事を介して農薬等をどの程度摂取しているかを把握し、情報提供することは、市民の食の安全安心を確保する上で重要である。本市独自の調査対象農薬 88 成分を設定し、マーケットバスケット調査方式による一日摂取量調査を行った。市民の食事からの農薬摂取量を調査し、検出した農薬については、その食品群の摂取量および一日摂取許容量（ADI）をもとに安全性の評価を行った。平成 26～28 年度に実施した調査結果、3 種類の群から農薬を検出した。それぞれの農薬の検出値をもとに一日摂取量を算出し、ADI と比較したところ、対 ADI 比は 0.003～0.3%であり安全上問題ない量と考えられた。